

平成22年度公立高校入試問題分析：国語

大問	小問	ポイント	正答	配点	難易度
1	問1	出題された詩の季節を読み取り、俳句（選択肢）の季語と照らし合わせる。	エ	3	普通
	問2	表現技法（倒置法）を理解し、さらに文節で答えることが必要。設問をしっかり読むことがポイント。	目覚めさせた	3	普通
	問3	出題された詩を、前半と後半に分けて説明した選択肢。詩全体の情景把握とともに、前半後半の内容をそれぞれまとめることが必要。	ウ	3	普通
2	問1	漢字の読み。前後の内容から推測して答えることも可能。	1.ゆる（く） 2.染（まっ） 3.おお（われた）	2 2 2	普通 普通 普通
	問2	打ち消しの助動詞「ない」の判別。文法問題に関しては最も容易な出題のため、「ぬ」に置き換えて考えるだけで回答可。	イ	3	普通
	問3	洋自身の自転車であるのに「おれが乗るのか？」と聞くということは、自分は乗るつもりではなかった。	自分の代わりに自転車に乗ってくれること。	3	やや難
	問4	「簡単な」と言わずに「安全な」と言っていることから推測していく。指定条件の『自尊心』の意味をヒントに解答の構成を考える。	（「簡単な」という表現を使うと、） 洋のマウンテンバイクの技術が未熟であることを意味することになり、洋の自尊心を傷つけることになるから。	6	やや難
	問5	「痛みと悔しさと惨めさで涙が出そうになり、起き上がる気力が湧いてこない」のに、「大丈夫だ」と笑顔をつくったことから推測する。	ウ	3	やや難
3	問1	2. 「目覚しい発展を」とあることから、読みを推測して解答することもできる。	1.研究 2.と（げる） 3.訪（れる）	2 2 2	普通 普通 普通

	問 2	漢字の組み立てについての問題。音読み・訓読みを理解し、湯桶読み・重箱読みの問題について触れておくことが必要。	ウ	2	普通
	問 3	解答欄に「高い位置に」とあることを参考にし、第二段落の 2 行目、3 行目をまとめる。それぞれの文の始まりに「高い位置に」とあることから解答は容易だが、字数制限があるため要注意。	①（高い位置に）つけた葉にまで水を汲み上げなければならないこと。 ②（高い位置に）多くの葉を掲げておくためのしっかりした枝や幹をもつこと。	4 4	普通 普通
	問 4	波線 2 の次の行に内容説明が書かれており、その部分について設問（解答欄）を参考にし、動詞の連用形で終わる内容でまとめる。	多彩な葉や実などを進化させ	3	普通
	問 5	表形式の記述問題。表の他の部分をヒントに対照的な表現を探して、品詞・文末などがそろうように解答していく。	植物はえさを提供し、動物は花粉や種子を運ぶという、植物と動物とがお互いに利益を受けあう	6	普通
4	問 1	注釈を参考に大意をつかむことで、「乗る馬を替える」ことがわかる。	ア	3	普通
	問 2	会話部分を判別する問題。「申し侍りしは、」「と申しき。」から判別する。会話部分が長いため、全体の意味をしっかりとつかむことが大切。	（始め）馬ごとに （終わり）の事なり	3	やや難
	問 3	内容にあわないものを選択することに注意。A と B の二つの文章が出されているため、正確な読み取りが必要となる。	イ	3	やや難
裁量	問 1	「片言」は簡単なことば、「隻句」はわずかなことばという意味。	イ D	3	難

4	問2	設問「そこでは二つの方法がとられると思う」という内容から、その二つの方法について答える問題。文章自体に「一つは」「もう一つは」とあり、文章構成が理解できていれば容易に解答できる問題。ただし字数制限があるため、主旨を把握し、まとめる訓練をしておくことが必要。	①ある本を読んで感動した言葉に出会ったとき、その言葉を筆写すること。 ②筆写した言葉についての感想、疑問、その一日に自分が経験したことや考えたことを並べて書きつけておくこと。	3 3	普通 普通
	問3	「不自由な」の意味合いを考え、言葉についての説明部分を探していく。	各人によって様々の解釈や定義やニュアンスの差を生じるという、不完全で、あいまいな性質。	6	やや難
	問4	「この苦闘」についての指示部分を探し、指定条件にあわせて記述する。文章を読み始める際に『自分であればどんなタイトルをつけるだろうか?』と意識して読むと、文全体のテーマがわかるようになり、さらにそのテーマについて『だから何を(どう)すればいいのか?』という視点で捉えると「主旨(筆者の最も言いたいこと)」が明確になってくる。	言葉で表現しようと思っても容易に表現しきれない真の感動を、何とか表現しようとして苦しむこと。	6	やや難